

# PM5D アップグレードガイド

このガイドでは、PM5D の各種ファームウェアを最新にアップデートする手順を説明します。

## ■ 必ずお読みください

- ・ アップデート作業は、お客様ご自身の責任において行なっていただきます。
- ・ アップデートを実行する前に、大切なデータはバックアップしておくことをおすすめします。
- ・ アップデートを実行する際は、リアパネルの HA REMOTE 端子に接続されているケーブルを必ず外しておいてください。特にPM5D-RHをお使いの場合は、内蔵ヘッドアンプが操作できなくなることがあります。この症状が発生した場合は、「内部 CPU ファームウェアのアップデート」の手順4の NOTE に従ってアップデートし直すことで修復できます。
- ・ DSP5D とカスケード接続している場合は、PM5D をアップデートすると DSP5D のアップデートも必要になる場合があります。互換性のある DSP5D のバージョンを確認した上で、アップデート作業を行なってください。互換性のないバージョンの PM5D と DSP5D がカスケード接続されたシステムでは、「PM5D Unsupported Firmware Version.」とエラーメッセージが表示されます。
- ・ アップデート作業中に PM5D の電源を切ったり、メモリーカードを抜いたり、このガイドに記載された手順と異なった操作をしたりすると、PM5D が故障する場合がありますのでご注意ください。
- ・ アップデート作業に失敗し、もう一度アップデート作業を実行しても PM5D が正しく動作しない場合は、ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。
- ・ このガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このガイドの一部、または全部を無断で複製、改変することはできません。

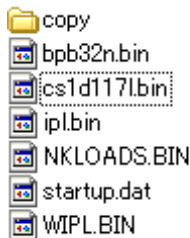
## ■ 動作環境

アップデート作業には、次のシステム構成が必要です。

- ・ メモリーカード × 1 枚  
(PCMCIA Type II に準拠した PC フラッシュ ATA カード、または PC カードアダプターに装着したコンパクトフラッシュ)
- ・ PCMCIA Type II カードスロットを持つ機器  
(ダウンロードしたファイルをメモリーカードにコピーする環境)

## ■ アップデートの準備

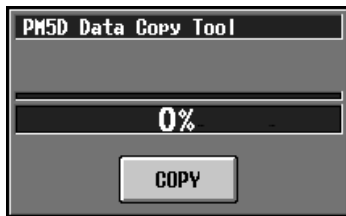
1. メモリーカードとそれを読み書きする環境(PCMCIA Type II スロットがあるノート型コンピューターなど)を準備します。
2. ファームウェアを V1 から V2 にアップデートする場合は、あらかじめエフェクトライブラリーNo.55 に保存しているライブラリーデータを別のライブラリー番号に移動させます。  
ファームウェア V2 では No.55 が読み出し専用の De-Esser に変更されますので、V1 で保存した No.55 のライブラリーデータは消去されます。
3. PM5D の内部データをメモリーカードにバックアップとして保存しておくことをおすすめします。  
通常の SAVE/LOAD 機能を使って、ALL DATA として保存します。
4. ファームウェア V1 で Add-On Effects パッケージを既にインストールしてお使いで V2 にアップデートする場合は、ライセンスをデオーソライズします。  
ファームウェア V2 では、Add-On Effects (COMP276/276S、COMP260/260S、EQ601、OPEN DECK) が標準で搭載されています。デオーソライズしたライセンスは、別の対応コンソールでご使用いただけます。デオーソライズの手順については、Add-On Effects インストールガイドをご参照ください。
5. 最新のファームウェアをヤマハ プロオーディオウェブサイトからダウンロードします。  
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>
6. FAT16 でフォーマット済みのメモリーカードをコンピューターなどのスロットに挿入します。  
フォーマット方法については、コンピューターやカードの説明書をご参照ください。
7. ダウンロードしたファイルを解凍し、「V\*\*\*\_UpdateCard」フォルダー(\*\*\*はバージョン番号)以下にあるすべてのファイルとフォルダーをメモリーカードのルートディレクトリーにコピーします。



8. コピーが完了したら、メモリーカードを取り出します。  
カードの取り外し方法については、コンピューターやカードの説明書をご参照ください。

## ■ LCD 画面ファームウェアのアップデート

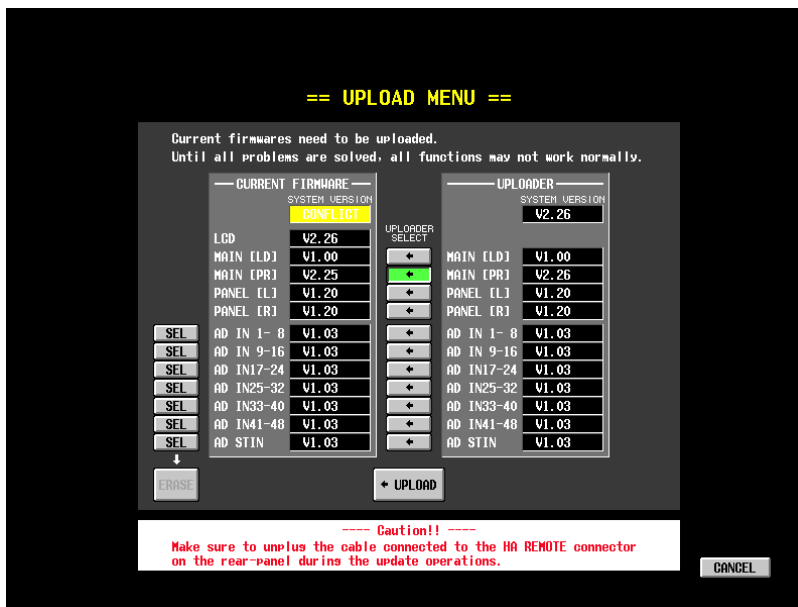
1. PM5D 本体の電源を切っておきます。
2. メモリーカードを PM5D の MEMORY CARD スロットに挿入し、PM5D の電源を入れます。  
通常のオープニング画面ではなく、アップデートのポップアップウィンドウが表示されます。



3. COPY ボタンをクリックすると、ファームウェアのアップデートが開始されます。進捗状況がプログレスバーに表示されます。
4. プログレスバーが 100%になり、「Take Out Card & Re-start」のメッセージが表示されたら、メモリーカードを取り出し、PM5D の電源を入れ直します。

## ■ 内部 CPU ファームウェアのアップデート

1. 上記 LCD 画面のアップデートが完了後、メモリーカードを取り出して PM5D の電源を入れ直すと、通常のオープニング画面のあとに、UPLOAD MENU 画面が表示されます。



左側には現在の PM5D の各 CPU ファームウェアのバージョンが表示され、右側にはメモリーカードから転送された各ファームウェアのバージョンが表示されます。

左右のバージョンが異なっている場合は、該当する UPLOADER SELECT ボタンが自動的にオンになります。ただし、PM5D-RH で MAIN や LCD のアップデートが必要な場合は、AD IN/STIN のバージョンが表示されないため UPLOADER SELECT ボタンがオンになりません。この場合は、MAIN や LCD をアップデートしたあとで、AD IN/STIN のアップデートを行なってください。

2. 中央下部の UPLOADER ボタンをクリックすると、各 CPU のアップデートが開始されます。進捗状況がプログレスバーに表示されます。
3. プログレスバーが 100%になり、「Please Re-start!」のメッセージが表示されたら、PM5D の電源を入れ直します。

PM5D-RH で AD IN/STIN のアップデートが必要な場合以外は、これで各 CPU のアップデートは完了です。

4. 電源を入れ直したあと、もう一度 UPLOAD MENU 画面が表示されたら、UPLOADER SELECT ボタンがオンになっている残りの CPU を上記の手順 2.~3.にしたがってアップデートします。

**NOTE:**

PM5D-RH をお使いで AD IN/STIN のバージョンが表示されない場合は、以下の手順にしたがって、ファームウェアを消去してから、もう一度 AD IN/STIN をアップデートしてください。

1. [RECALL] ボタンと [SHIFT] ボタンを押しながら電源を入れて、UPLOAD MENU 画面を表示させます。
2. CURRENT FIRMWARE の AD IN/STIN の左にある SEL ボタンですべての AD IN/STIN を選択し、ERASE ボタンをクリックします。
3. OK ボタンをクリックして、消去を実行します。  
消去を実行すると、すべての AD IN/STIN のファームウェアが消去されます。
4. 消去完了後に電源を切り、[RECALL] ボタンと [SHIFT] ボタンを押しながら電源を入れ直して、もう一度 UPLOAD MENU 画面を表示させます。  
AD IN/STIN のファームウェアが消去されていると、トップパネルの AD IN セクションのすべての+48V LED が点灯/消灯を繰り返します。
5. UPLOAD MENU 画面で、すべての AD IN/STIN の UPLOADER SELECT ボタンをオンにし、UPLOAD ボタンをクリックします。  
選択された AD IN/STIN のアップデートが開始され、進捗状況がプログレスバーに表示されます。このとき、AD IN/STIN 欄は CURRENT FIRMWARE/UPLOADER の両方で空欄になりますが、アップデートは正常に実行できます。アップデートが完了するまで電源は切らないでください。
6. プログレスバーが 100%になり、「Please Re-start!」のメッセージが表示されたら、PM5D の電源を入れ直します。
7. UTILITY ファンクションの PREFERENCE 2 画面で、AD IN/STIN のバージョンがすべて表示されていることを確認します。

## ■ 内蔵メモリの初期化

1. 上記 CPU のアップデートが完了後、PM5D の電源を入れ直すと、通常のオープニング画面に続いて、INITIALIZE MENU 画面が表示されます。  
INITIALIZE MENU 画面が表示されない場合は、SCENE MEMORY [STORE]キーを押しながら、電源を入れ直してください。
2. INITIALIZE ALL MEMORIES ボタンをクリックして、メモリ初期化を実行します。
3. メモリ初期化が完了したら、電源を入れ直します(または CANCEL ボタンをクリックします)。

## ■ フェーダーのキャリブレーション

1. SUB の CPU がアップデートされた場合や、フェーダーのキャリブレーションに問題がある場合は、FADER CALIBRATION 画面が表示されます。  
問題が検出されたフェーダーは、ボタンがオン(緑色)になっていて、あらかじめチェックマークも付いてい

ます。

2. 1 つでも緑色のチェックマークの付いたフェーダーがある場合は、START CALIBRATION ボタンをクリックして、キャリブレーションを実行します。

キャリブレーション手順について詳細は、取扱説明書をご参照ください。

3. キャリブレーションが終了して、緑色のチェックマークの付いたフェーダーがなくなったら、OK ボタンをクリックします。
4. CALIBRATION MENU 画面が表示されたら、電源を切ります。

以上でアップデート作業はすべて終了しました。

必要なデータをバックアップしてある場合は、SAVE/LOAD 機能を使ってデータをロードしてください。

Yamaha Corporation, All Rights Reserved.

D0

© 2005-2011 Yamaha Corporation